建築設備専用 3D CAD

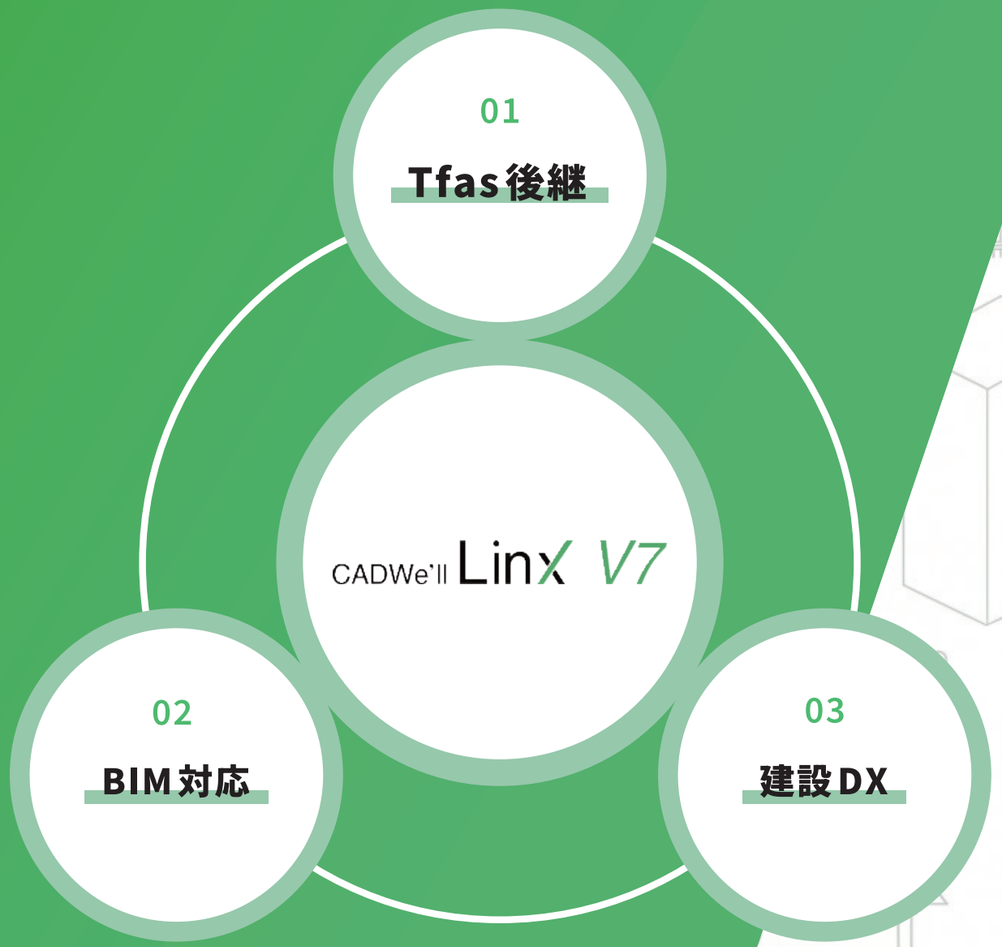
CADWe'll Linx V7

電気版

DAITEC

人とデータをつなぎ、現場の真価をひきだす。

Linx V7は、Tfasの操作性はそのままに、設計～施工～運用まで
業務全体の生産性を飛躍的に向上させるBIM対応CADです。
これからの現場へ圧倒的な効率化と安心をお届けします。



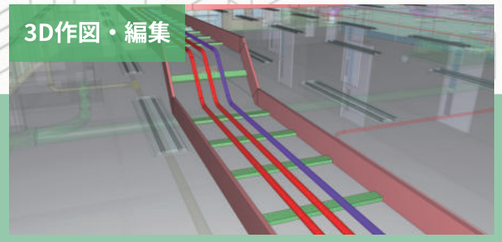
人の情熱とテクノロジーで、「つくる」を加速させる。

図面を形にするのは、いつの時代も現場に立つ「人」の知恵と情熱です。
高度化する建設プロジェクトにおいて、膨大なデータ管理や情報共有の遅れは、
現場の生産性を低下させる要因となります。
業務に追われ、本来の技術力を活かす時間が奪われていないでしょうか。

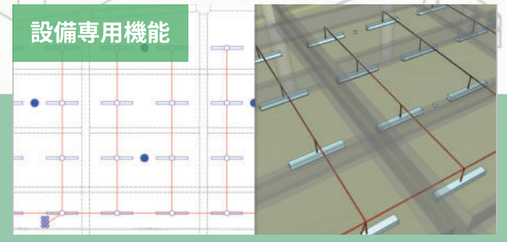
『CADWe'll Linx』は、作図作業の効率化にとどまらず、
設計から施工までのスムーズな連携を実現します。
人とデータの間にある障壁を取り払い、あらゆる情報をシームレスに統合。
分断されていたデータが一つに繋がることで、
正確な図面データを現場へ迷いなく届けることが可能になります。

テクノロジーですべての滞りを解消し、現場が持つ真の力を引き出す。
私たちは、圧倒的な使いやすさと実績に裏打ちされた信頼で、
皆様の「つくる」を力強く支え続けます。

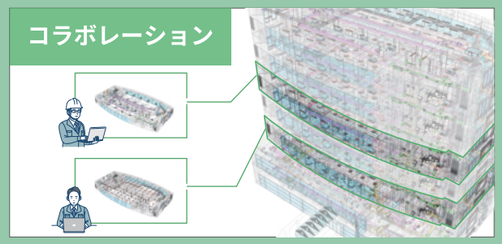
CADWe'll Linx V7 主要な機能



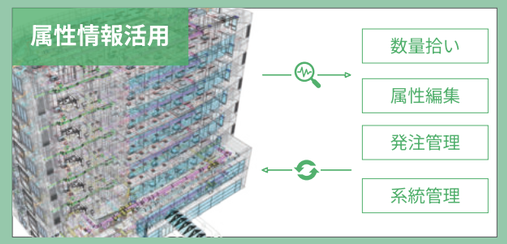
p.11 - 12



p.13 - 16



p.05 - 06 , 18

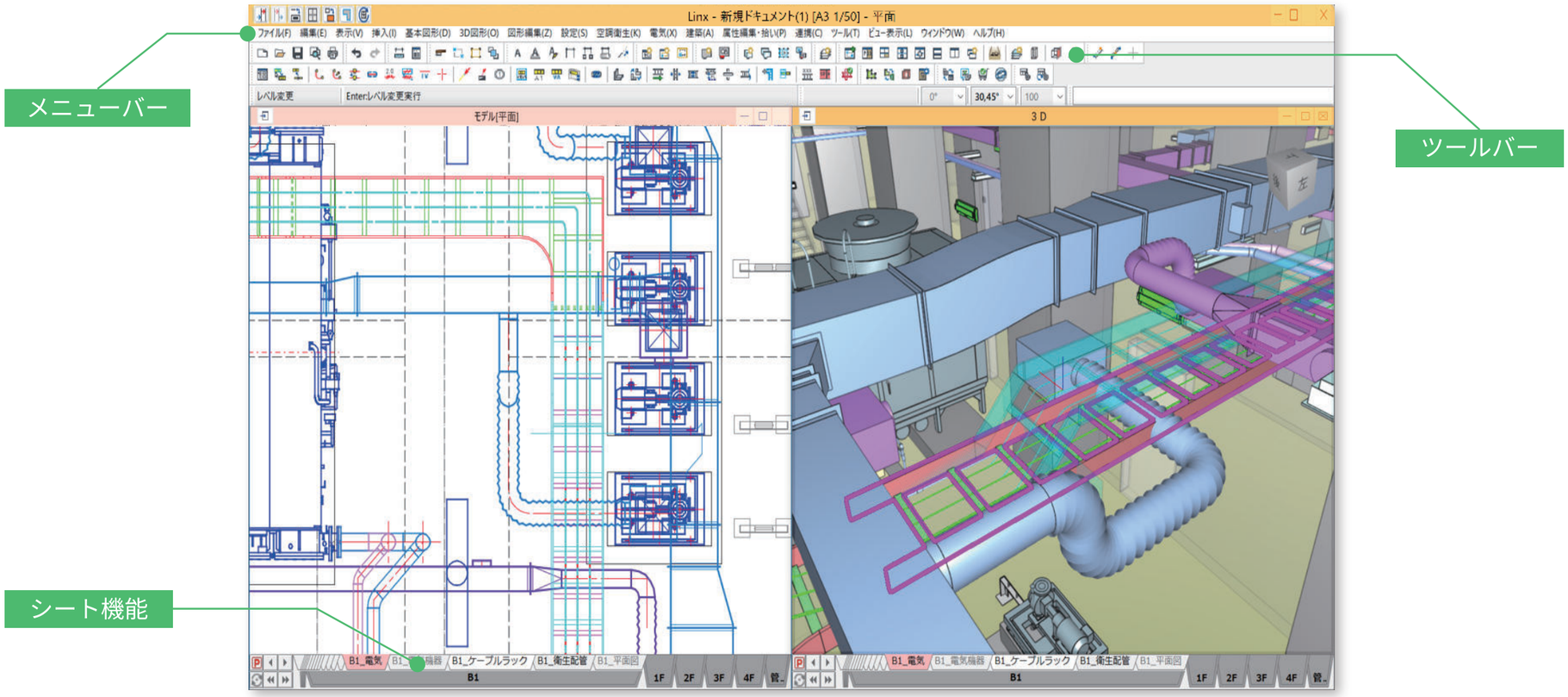


p.19 - 20

01 Tfas後継

CADWe'll Tfas との親和性が高く、操作性から図面や
作図設定、部材、各種機能まで高い互換性。

Tfasの使いやすさはそのままに



NEW 図面互換

Linx と Tfas の間で
スムーズな図面データの入出力

Linx ⇄ .tfs ⇄ CADWe'll Tfas

設定の引き継ぎ

Tfas の設定を引き継いで快適に利用

- シートの表示 / 非表示設定
- 3D のビューポイント
- レイアウト
- 電気作図設定

etc.

互換性が高い各種機能

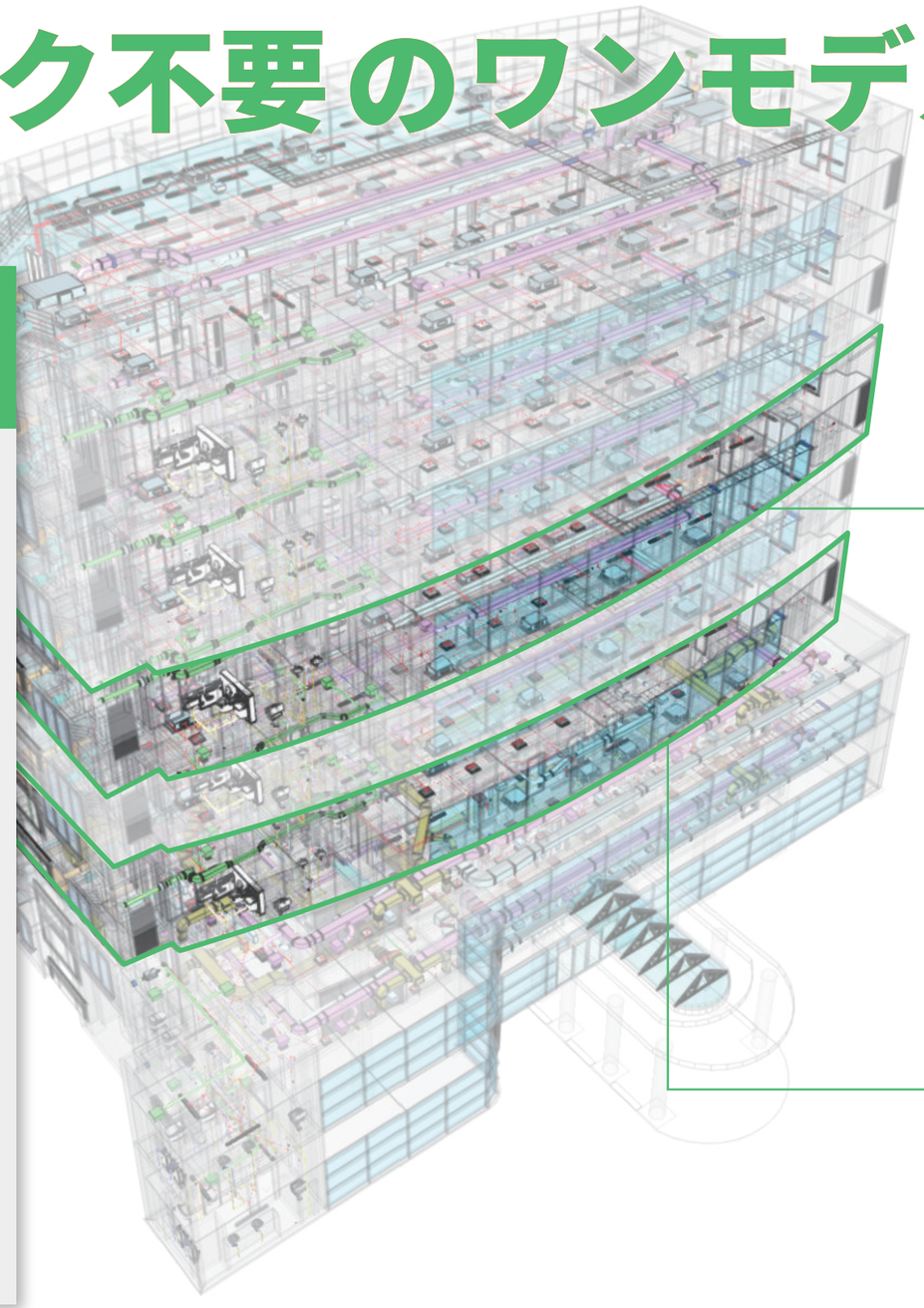
Tfas 資産を Linx でも活用

- Tfas の部材は属性活用でき、Linx でさらに利活用が可能
- Tfas の外部参照ファイルも活用でき、ワンモデルでの利用も可能

02 BIM 対応

複数人が同時に別々のシートで作業可能。
シームレスなモデル運用を実現。

外部リンク不要のワンモデル運用



CADWe'll Linx
ワンモデル運用のメリット

クラウド上のモデルで ワークシェアリング

Box などクラウドサーバー上のモデルに対して遠隔地からでも複数人で同時に作業が可能です。

データを軽く扱える

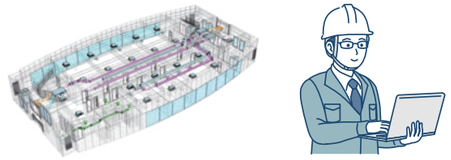
必要なシートだけを取り込むことで、データを軽く扱うことができます。

図面の統合作業が不要

同一のモデルに対して同時に作業を進めていくため、後から図面を統合する手間を省くことができます。

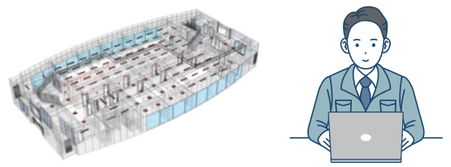
現場で

5F 建築図・5F 空調図のみ
シートを取得して作業



会社で

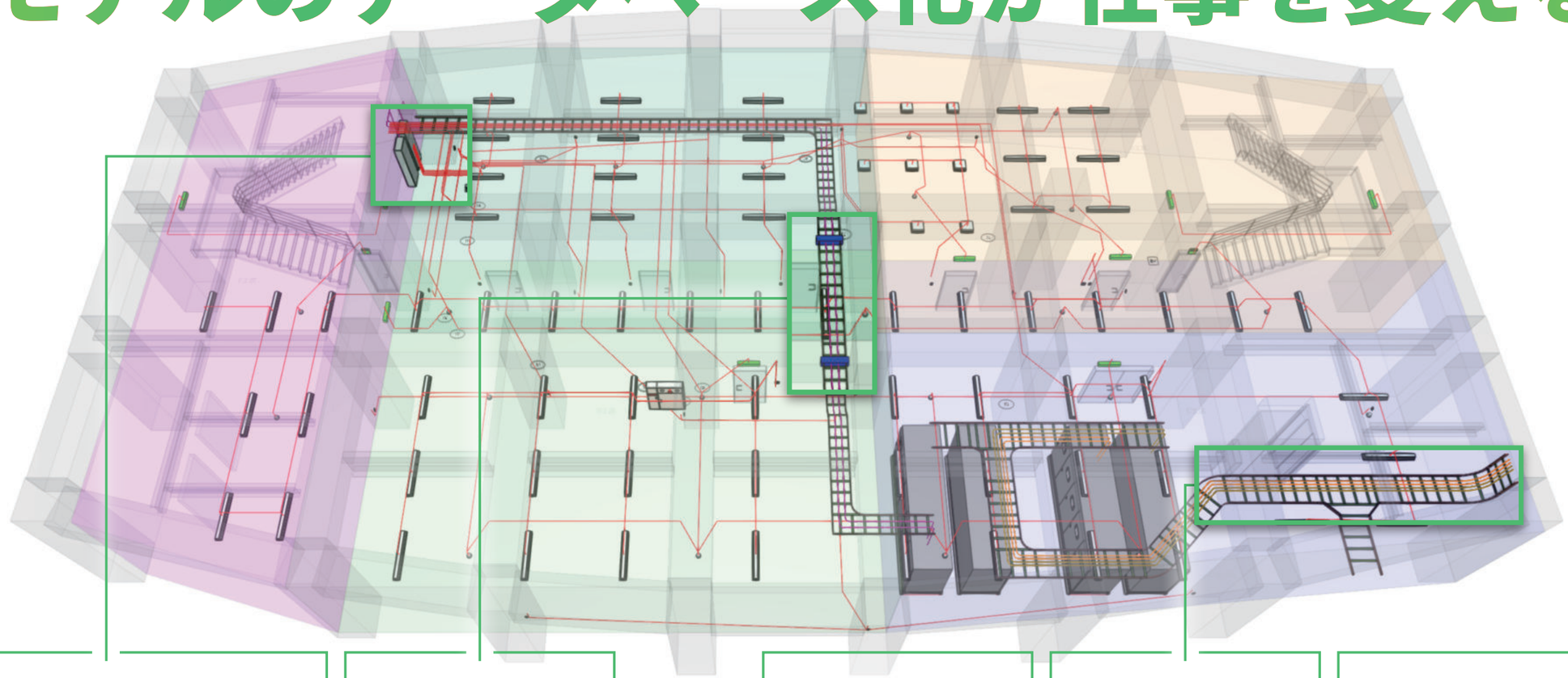
3F 建築図・3F 電気図のみ
シートを取得して作業



02 建設DX

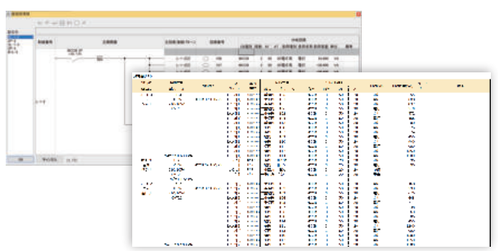
作ったモデルがそのままデータベースに。
属性情報の利活用で業務効率化。

モデルのデータベース化が仕事を変える



盤リスト

分電盤・動力盤リストを作成



発注管理

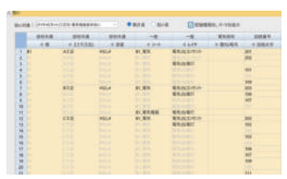
発注指示書をExcelデータに出力



▲スリーブ発注指示書

数量拾い

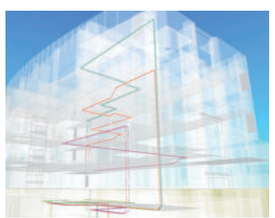
目的に合わせた様々な拾い



▲ 施工区分別拾い

系統管理

系統ごとに色分けして可視化



▲ 幹線系統別色分け

連携機能

さまざまなアプリと連携して
業務効率化

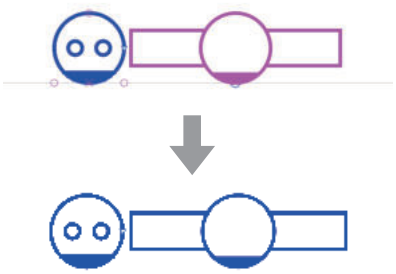
AUTODESK REVIT　AUTODESK Forma
SPIDER+　現場Plus TF
respo　PLANEST +BIM

CADWe'll Linx V7 — 3つのコンセプト

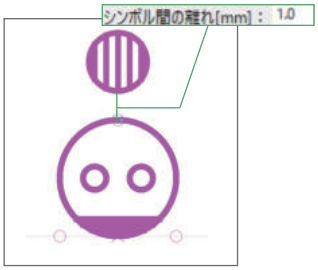
CADWe'll LinX V7 新機能

電気設備 機能

部材の親子関係

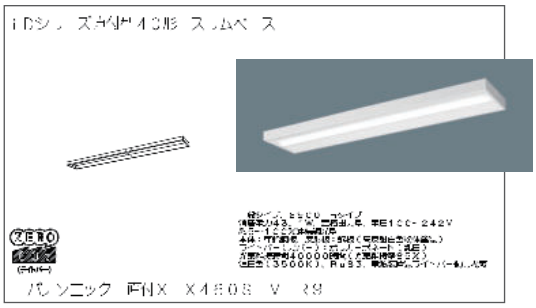


電気部品と照明器具同士で
親子関係を持たせることが可能



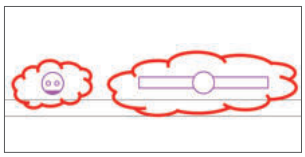
親子関係を持つ電気シンボルの
離れ距離を設定・一括で変更可能

姿図配置

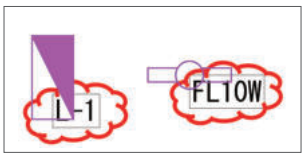


器具データ内の姿図 DXF ファイル・写真画像を
直接図面内に配置

チェック機能

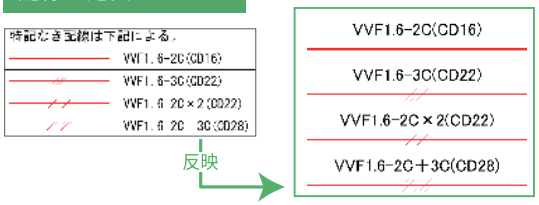


▲ 壁付部材位置チェック



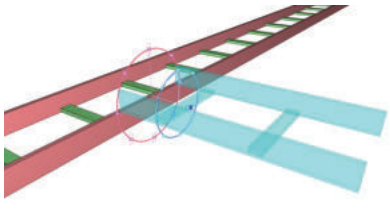
▲ 隠れ部材チェック

配線注記表

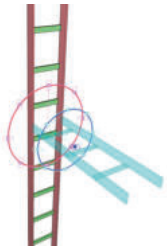


配線注記表内の配線傍記を図面内の配線に反映

ルーティング強化

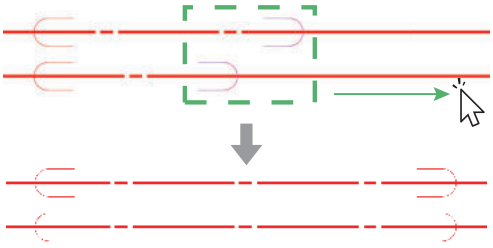


▲ ラックの親下駄に乗せる表現に対応



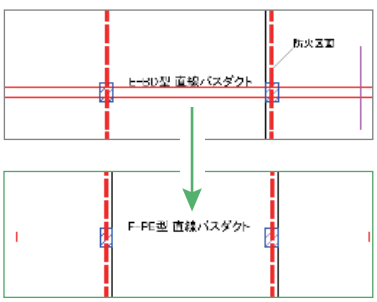
縦ラックの途中から分岐 ▲

エンド伏せ移動



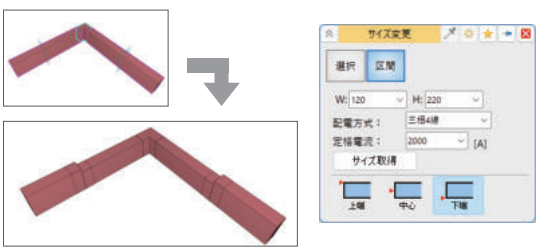
エンド伏せを一括 / 個別に移動することが可能

バスダクト耐火仕様



◀ 入替を実行すると
プラグインジョイナが
自動で挿入

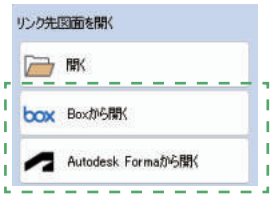
バスダクト サイズ変更



バスダクトのサイズを変更する際、
上端・中心・下端揃えを選択可能

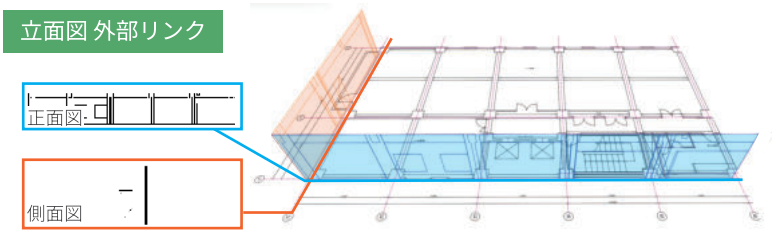
外部リンク

クラウドサーバ 外部リンク



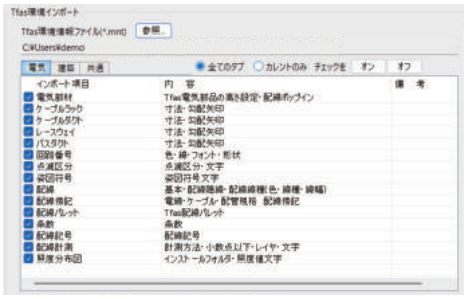
Box・Autodesk®Forma® 上の
図面を外部リンク

立面図 外部リンク



正面や側面といった立面図を外部リンク。
簡易的な建築モデルとして確認や取り合い調整に活用

Tfas 環境保守 読込



Tfas 環境保守ファイルに含まれる電気・建築・共通の
作図設定を読み込み可能

InfiPoints 連携



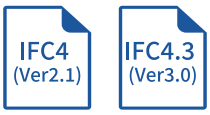
InfiPoints の点群データを読み込み、3D ビューに表示
レイヤごとに点群データの表示 / 非表示切替が可能

図面データ活用

IFC

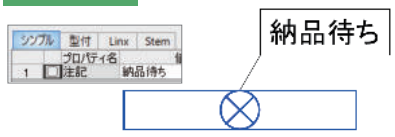


2D 図面 (DWG) の
同時入出力に対応



IFC4（設備 IFC データ利用標準 Ver2.1）
IFC4.3(設備 IFC データ利用標準 Ver3.0) 入出力

傍記



部材に付加した独自の属性情報を
傍記として図面上へ配置

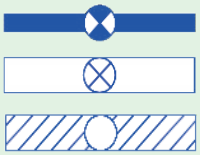
部材追加

LED 照明器具に誘導灯兼用非常照明 2 種、不滅灯 26 種、
発電回路用 45 種、施工用 80 種を追加

照明器具

- 誘導灯兼用非常照明
  壁付 (横) LED Hf32×1
- 不滅灯　ライン LED40×2 不滅回路
- 発電回路 ライン - ボックス付
  LED 40×2

…ほか多数

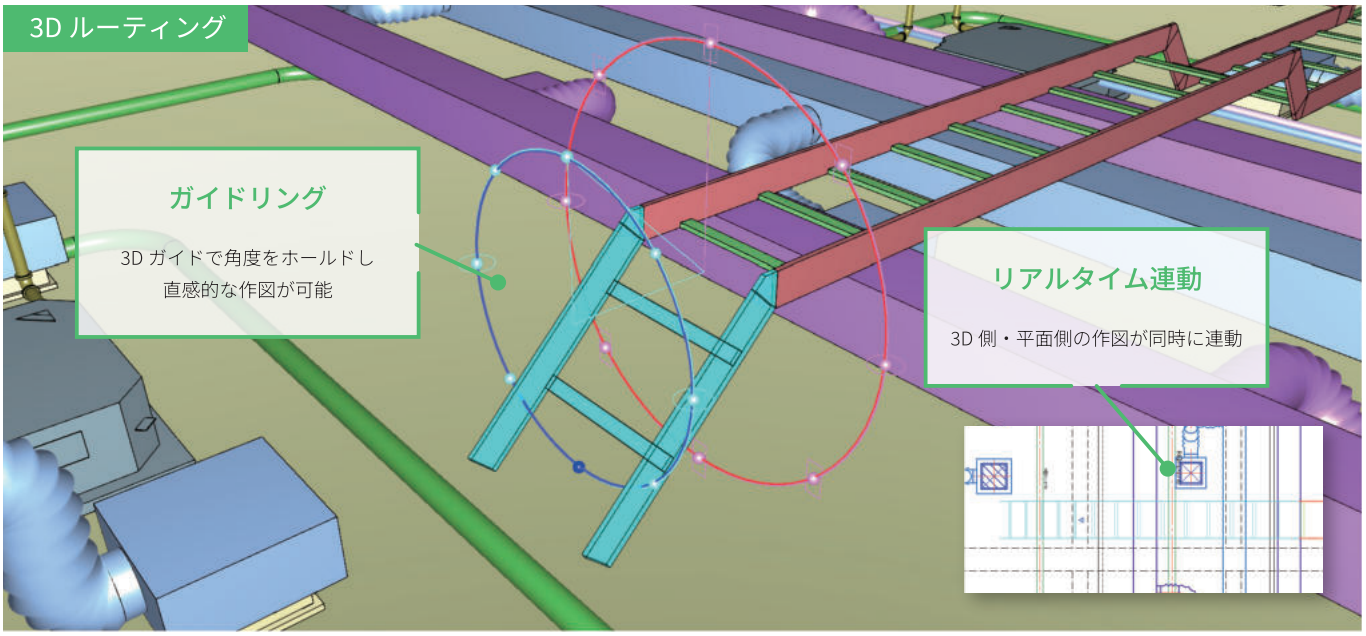


その他

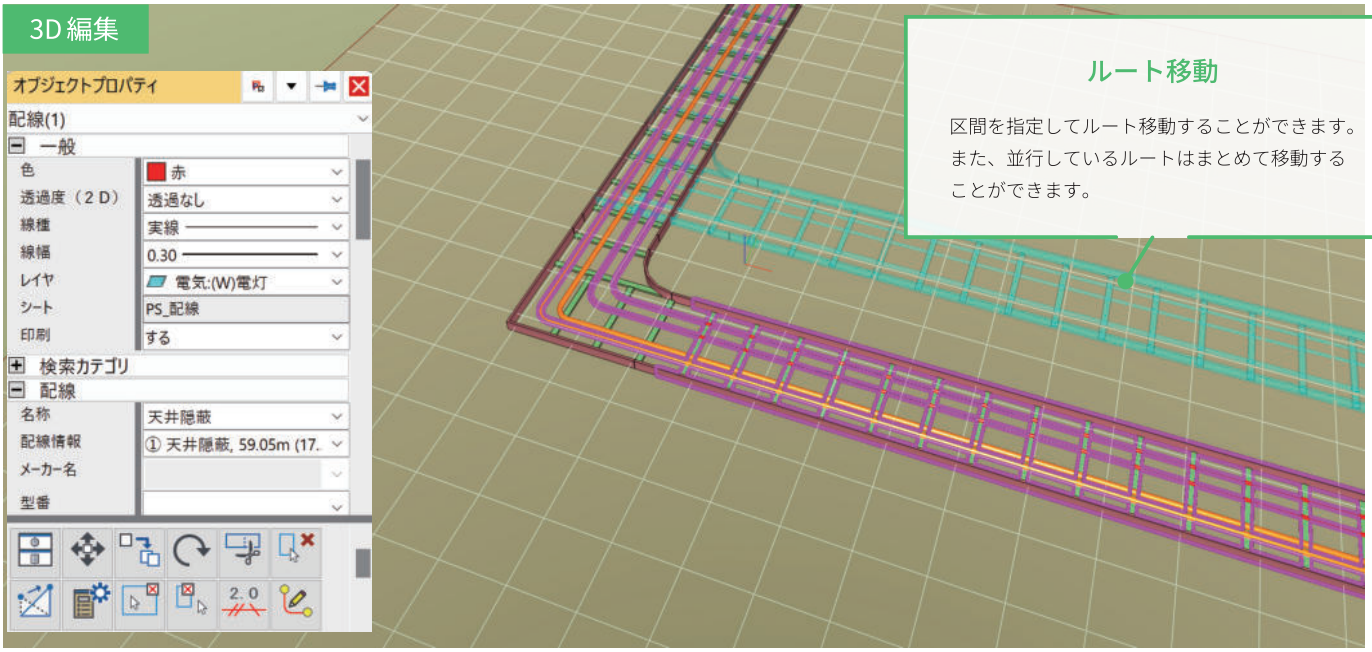
- BCF Ver2.1 の入出力
- Tfas 図面読込 強化
- ドキュメント一括変換
- 選択コマンド強化
- 文字・引出線 強化
- PDF 出力 強化
- 基本属性編集コマンド
- 数値加算
- 図形編集ハンドル 強化

01 | 3D機能

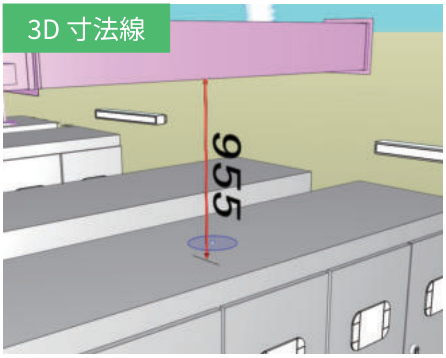
3D ルーティング



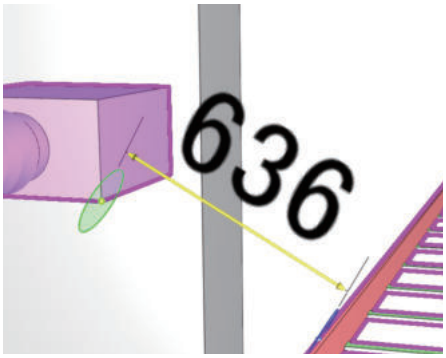
3D 編集



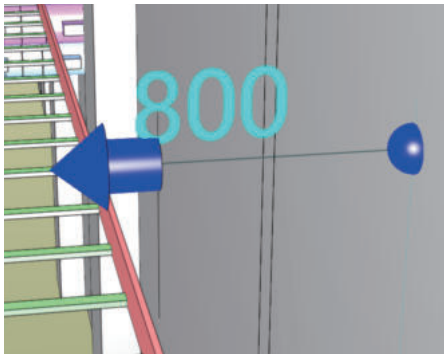
3D 寸法線



▲ 3 D 上で寸法線の作図が可能



▲ 2 図形間の最短距離を確認



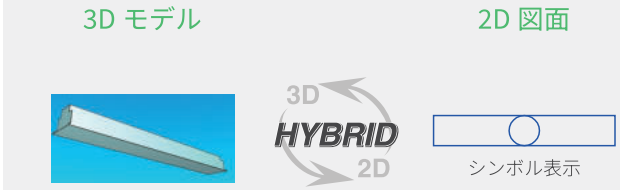
▲ 3D 上で寸法値変更

3D モデルと 2D 図面の両立

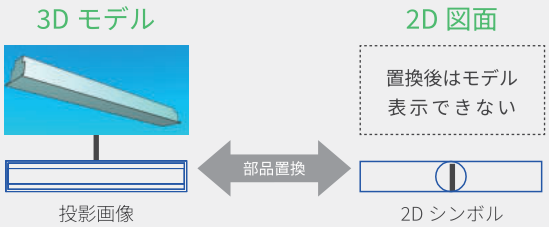
通常の 3DCAD では、オブジェクトを上から投影した形を平面図として表示させます。Linx では、各オブジェクトに
2D シンボル情報を持つことができますので、図面は今まで通りシンボルで表示することができます。

Linx
オブジェクトに 2D シンボル情報を保持
3D ではモデル表示
2D ではシンボル表示が可能

一般的な 3DCAD
オブジェクトに 2D シンボル情報を保持できず
それぞれでの作成が必要



▲3D モデル、2D 図面で別々の作業は不要



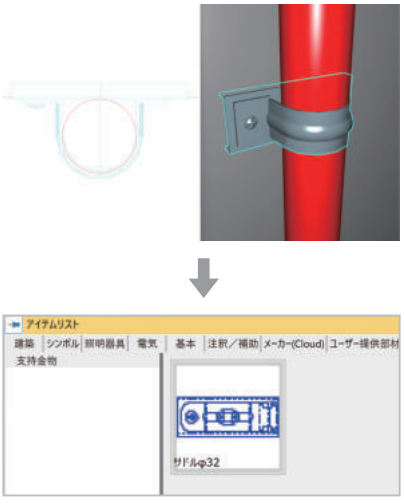
▲3D モデル・2D 図面で別々の作業が必要

3D 部材登録・作成機能

部材はメーカー仕様書等の提供データから簡単に作成が可能です。
3D データがない場合でも、ユーザー部材を簡単に作成することができます。

部材取込

図面に配置されているユーザー部材も
一括でアイテムリストに登録可能



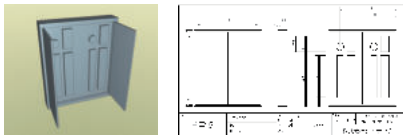
メーカー提供部材

部材サーバーを直接参照し、
常に最新データを自動ダウンロード



3D 部材登録

2D 仕様書を元に 3D 図形を組み合せて
部材の作成・登録が可能



Linx で作成したサンプル部材



複雑な 3D 形状の作成

スイープ



▲ 図形に対してガイド線分を設定し、その軌道に沿って 3D 図形を作図

ロフト



▲ 断面間をガイドに沿って繋ぐ 3D 図形を作図

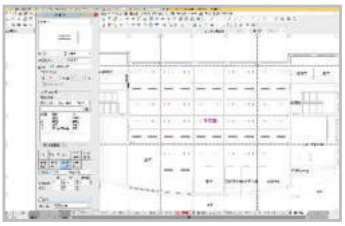
02 | 電気設備 機能 ①

部品配置

アイテムリストから部品を選択し、Tfas 同様の配置が可能です。
さまざまな表現方法に対応しておりますので、複雑な電気図面と、3D モデルの両立を実現します。

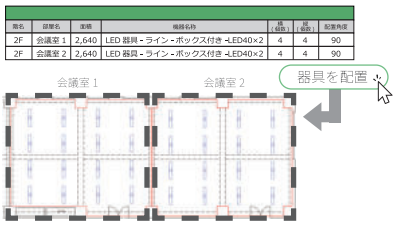
さまざまな配置方法

領域自動配置



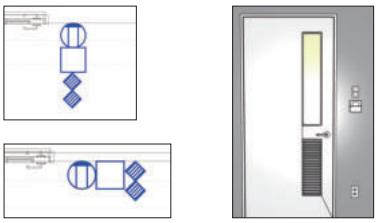
部屋図形を指定して
領域自動配置が可能

自動プロット



Excel 上で指定した照明器具・盤を
各部屋に配置可能

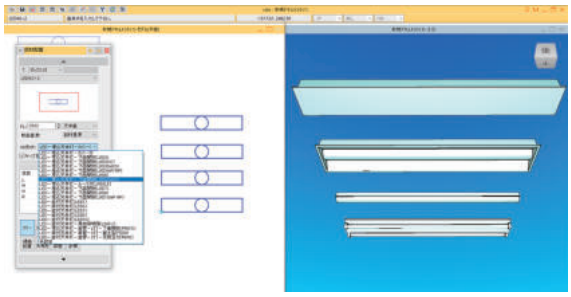
オフセット配置

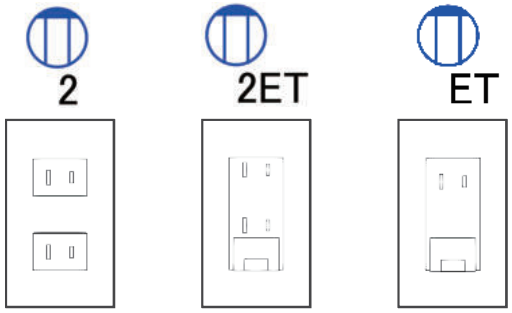


3D の表現を維持しながら、
平面図側の表現を変更可能

3D 部品の付け替え

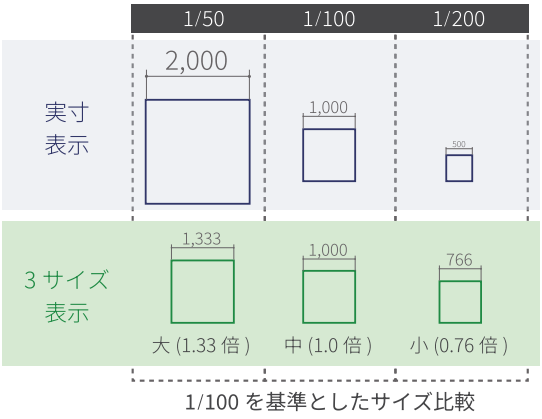
同じ 2D シンボルに各々の 3D 形状を付け替えることができるので、初期段階で決まりにくい 3D 形状を後から変更可能です。
また傍記を付加することで各々の 3D モデルを表示でき、後から傍記を変更するだけで 3D も変更されます。



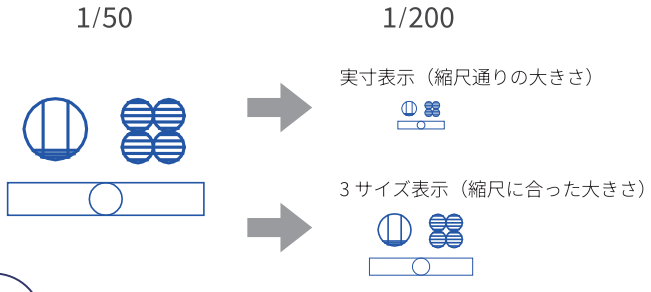


縮尺ごとの倍率設定 (3 サイズ登録)

3D モデルでは実寸表示が当たり前ですが、従来通りの 2D 図面を仕上げるには、2D シンボル表現が重要になります。
Linx では 3D モデル、2D 図面の両立をさせるため、3 サイズ登録に対応しておりますので縮尺に応じた表現が可能です。



1/100 を基準としたサイズ比較

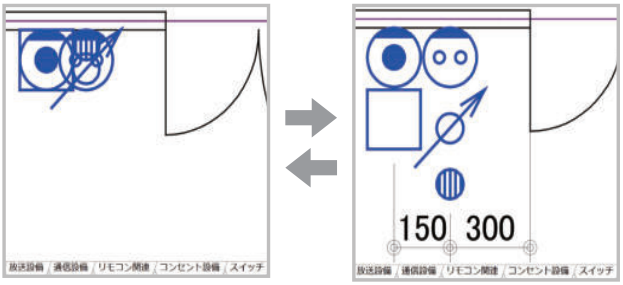


POINT

実寸表示では縮尺に応じて拡縮されすぎるため、置換作業が発生しますが、3 サイズ表示なら縮尺に合った大きさ表現が可能です。

総合図作成

壁付部材のシンボルが重なっている箇所を総合図用に自動調整でき、通常表示との切り替えも可能です。
3D では、平面の表示状態に関わらず実際の寸法に即して表現されます。



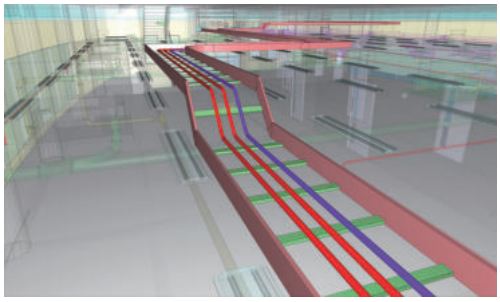


配線作図

3D 画面からのラック作図および配線の 3D 表現に対応しています。
直感的に作図・確認を行うことができます。

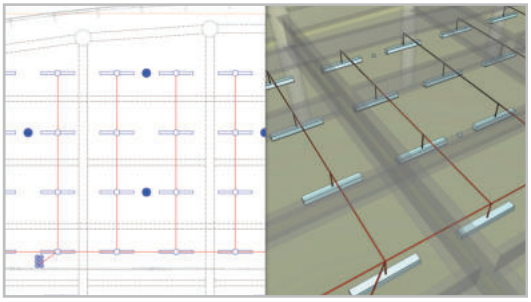
3D 表現

ラック上の配線の 3D 表現に対応しています。



配線パターン

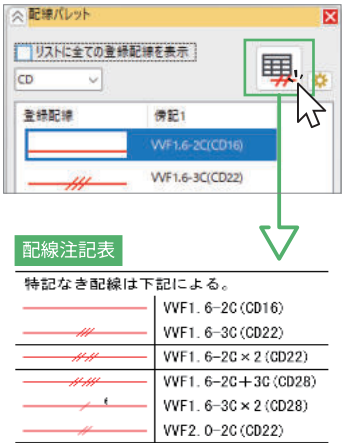
配線パターンをシミュレーションしながら作図できます。



配線注記表

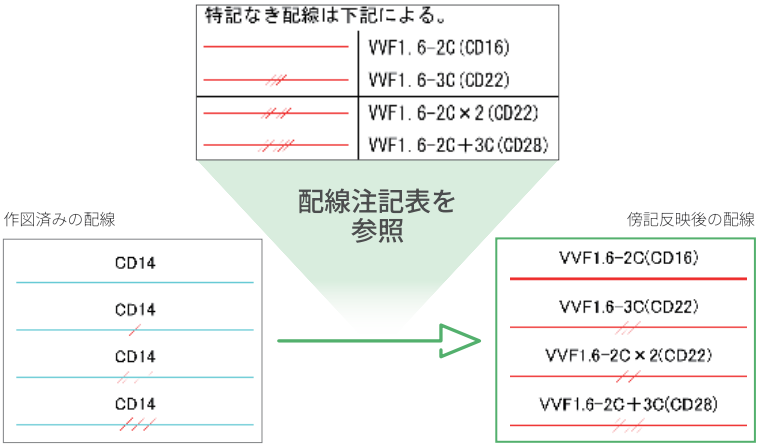
配線パレットの情報から注記表を作成し、図面上の配線へ電線種別や管径などの傍記を一括反映できます。
仕様を決めずに作図した配線に対し注記表から情報を反映できるため、設計の流れを崩さず正確な BIM モデル構築が可能です。

配線パレットから配線注記表作成



配線作図コマンドから配線パレットを表示し
登録されている配線の注記表を作成

配線注記表から配線へ傍記を反映



作図済みの配線に対し、配線注記表の傍記情報を反映可能
3D 上の配線太さ表現にも変更を反映

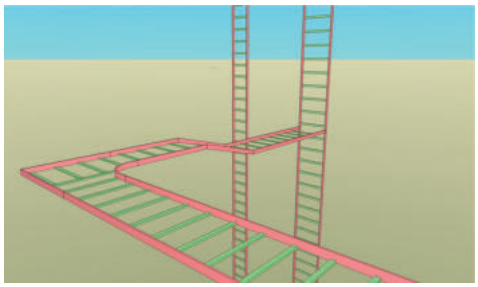
03 | 電気設備 機能 ②

ケーブルラック作図・編集

3D 画面からのラック作図および配線の 3D 表現に対応しています。
直感的に作図・確認を行うことができます。

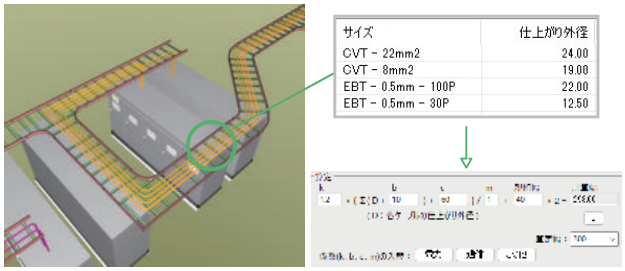
立てラック作図

ケーブルラック、ケーブルダクト、レースウェイ、バスダクトの
複数階を跨ぐ作図が可能です。



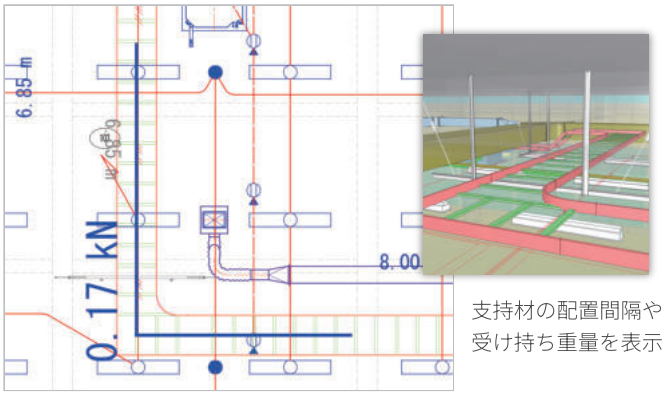
ラック幅自動算定

電線・ケーブルの外径、本数を元にラック幅を算出できます。
ラック上に配線を作図している場合は、算定ダイアログに
配線の情報が表示されます。



耐震振れ止め自動作図機能

建築設備耐震設計・施工指針 2014 年版に基づき耐震支持材を自動配置します。重量に応じて鋼材の厚み、耐震クラスや階層に応じて配置間隔を算出します。



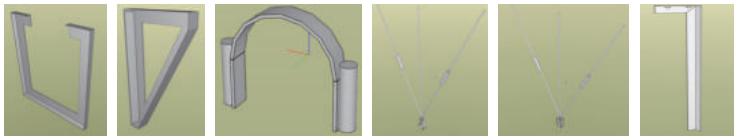
支持材の配置間隔や
受け持ち重量を表示

- 配置起点も自由に指定可能
- 手間のかかる作図時間を大幅に短縮
- 耐震基準・階種別も考慮
- 共吊り・インサートも、自動配置可能

▼アンカーボルトのサイズや本数も変更可能

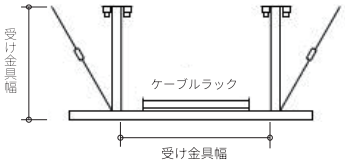


▼耐震支持材のラインナップ強化

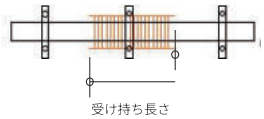


受け金具　ハンガー　U バンド　吊りバンド　吊り金具電気用　L 型

建築設備耐震設計・施工指針 2014 年版



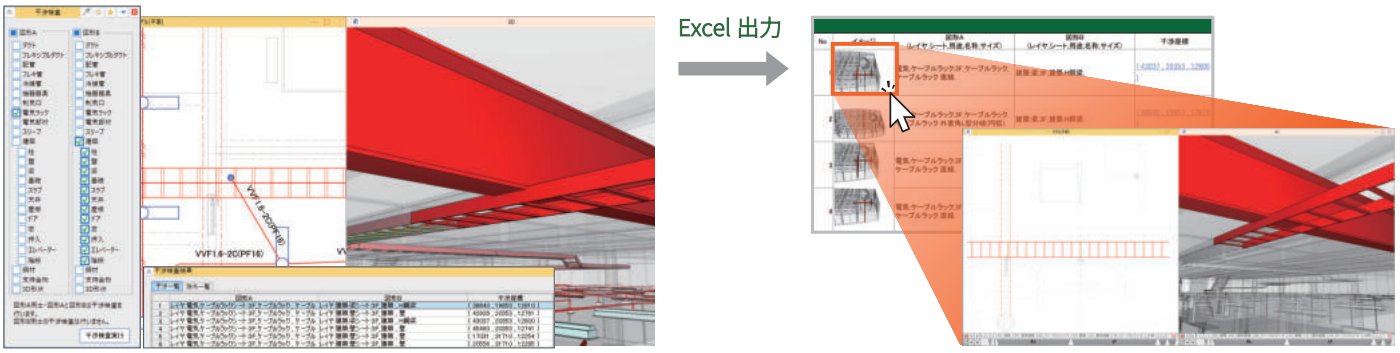
耐震クラスや階層に応じて
配置間隔を算出



干渉検査機能

干渉検査機能により、瞬時に干渉箇所を洗い出せます。干渉箇所は図面や 3D 上にアラート表示されるので一目瞭然。
手戻りのない正確な施工図作成をサポートします。

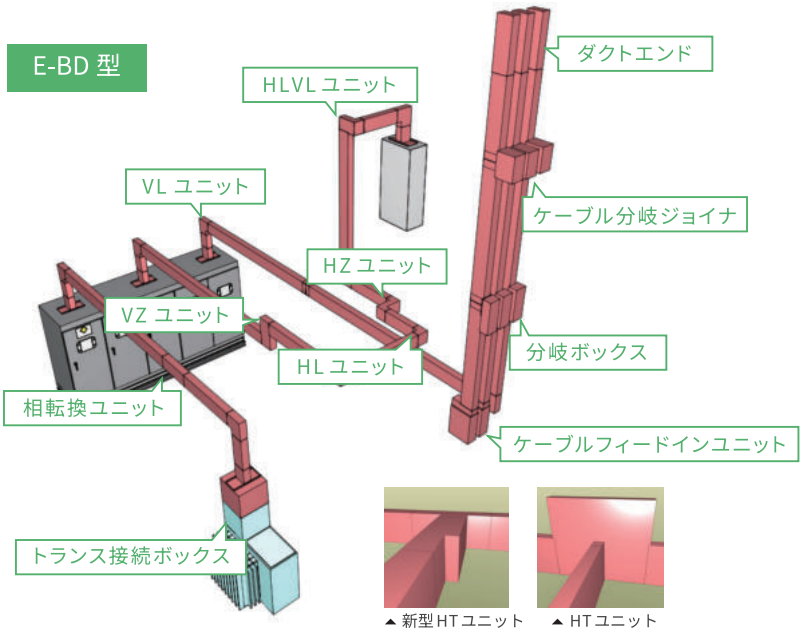
- 干渉検査対象図形の細分化
- 3D 上での干渉表現を変更可能
- 干渉検査対象図形の指定が可能
- 干渉結果の Excel データ出力対応・干渉座標を確認可能



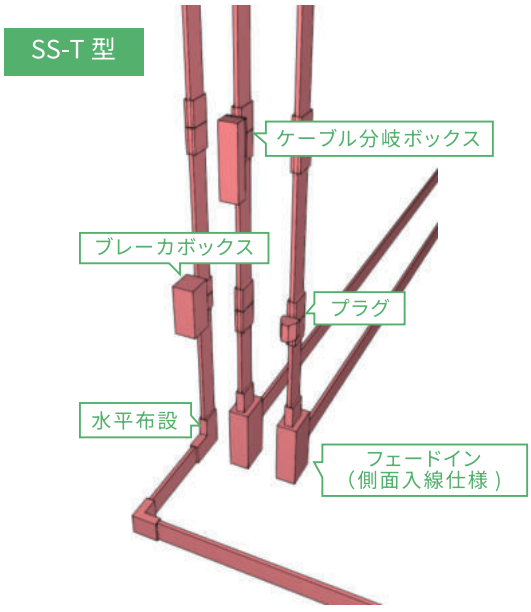
Excel でイメージをクリック後、Linx で干渉箇所を表示

共同カイテック㈱ バスダクト連携

共同カイテック㈱の E-BD 型バスダクト (アルミ導体・銅導体) および SS-T 型バスダクトの主要部材を搭載しました。
配電方式・電流量を元にサイズを自動取得できます。

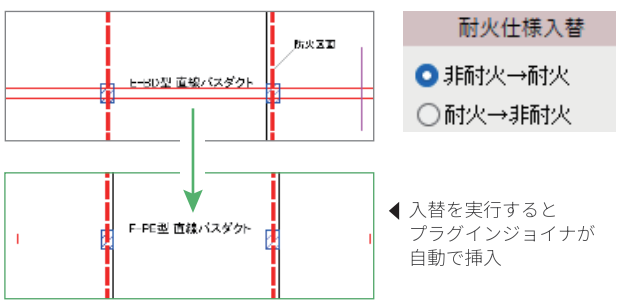


▲ 新型 HT ユニット　▲ HT ユニット



耐火仕様部材への区間入れ替え

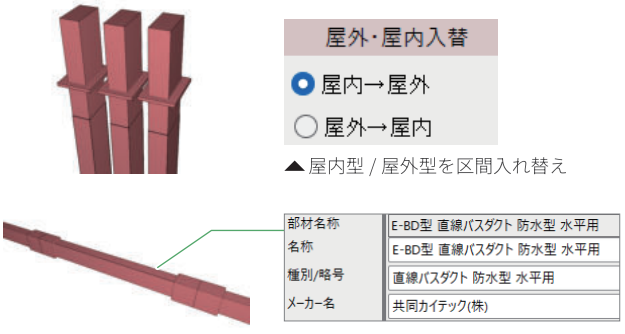
E-BD 型直線バスダクトの銅導体を区間指定で F-PE 型直線バスダクトに
入れ替え可能です。



◀ 入替を実行すると
プラグインジョイナが
自動で挿入

屋外型 / 屋内型の区間入れ替え

E-BD 型直線バスダクトを区間指定で屋外型 / 屋内型に入れ替え可能です。

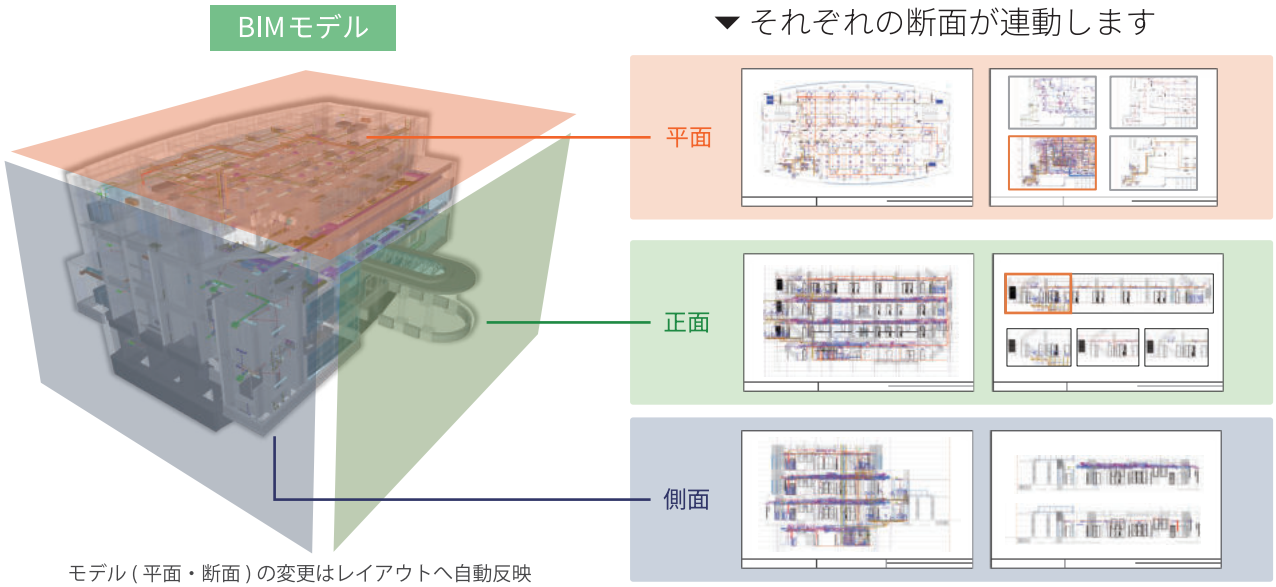


▲ 屋内型 / 屋外型を区間入れ替え

04 | 共通機能

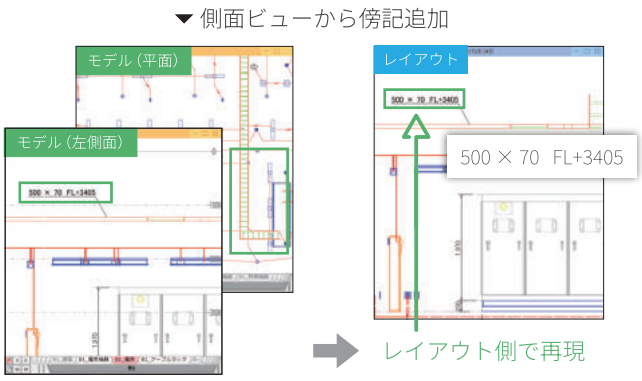
レイアウト機能

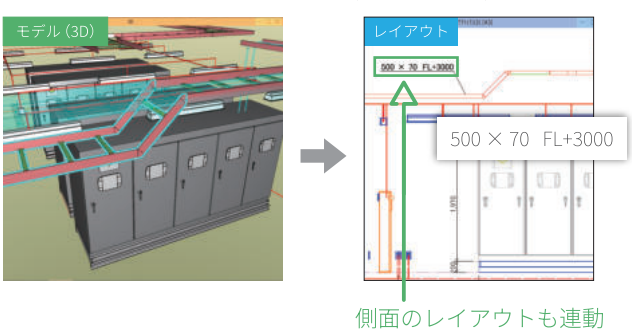
モデルを平面、正面、背面、側面からビューポートとして切り出しレイアウトを作成します。
モデルの変更はレイアウトへ自動的に反映されます。



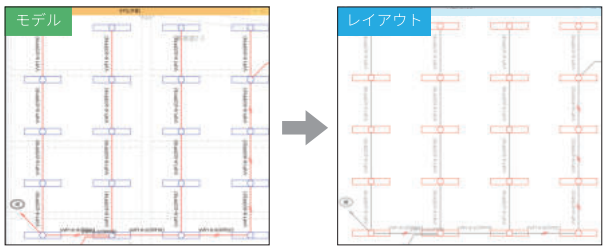
モデル (平面・断面) の変更はレイアウトへ自動反映

モデル・レイアウト連動



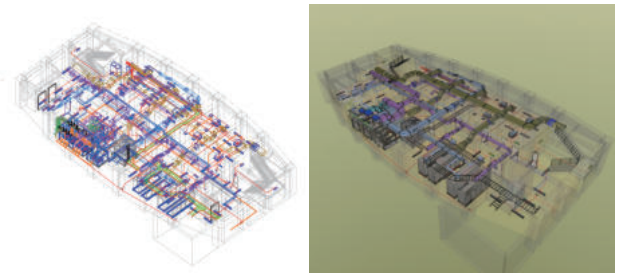


レイアウト図面表現



ビューポートごとに、レイヤ・シートの表示状態を
個別に設定可能

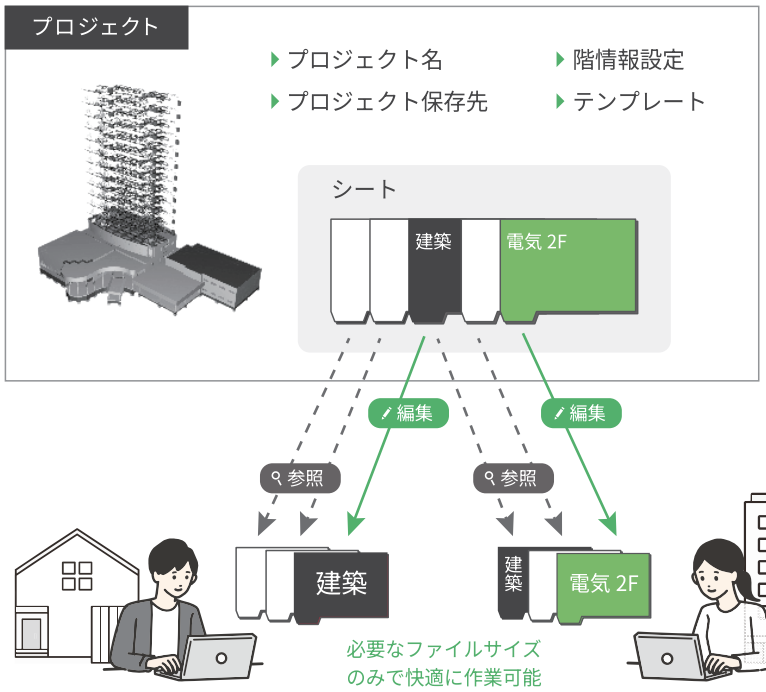
任意角度からの表示



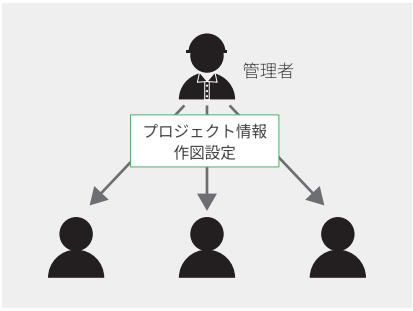
平面・側面だけでなく、任意角度からのアイソメ表現に対応
アイソメ図はレイアウトに貼り付け可能

コラボレーション機能

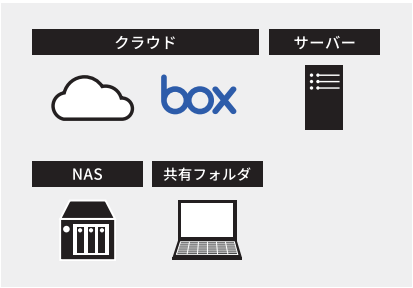
Linxでは複数人が同時に同じモデルデータを参照できます。シート単位で編集権限を取得するため、他者と干渉せず編集ができます。
従来のCADとはまったく異なる考え方で、ワンモデル運用を実現します。



▼管理者から作業者にテンプレートを配布

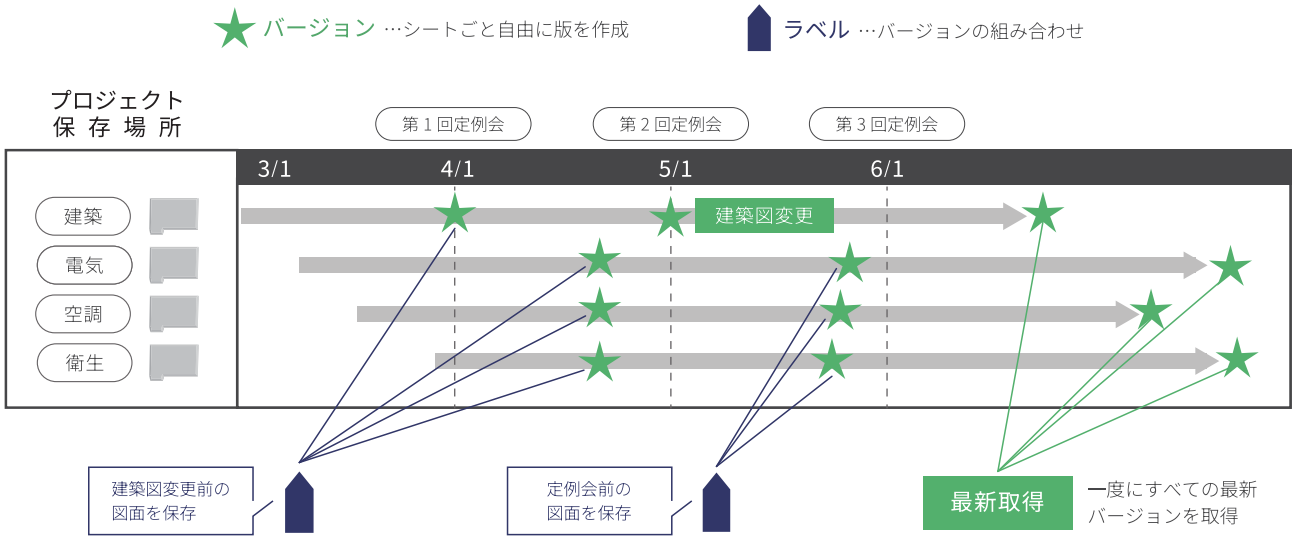


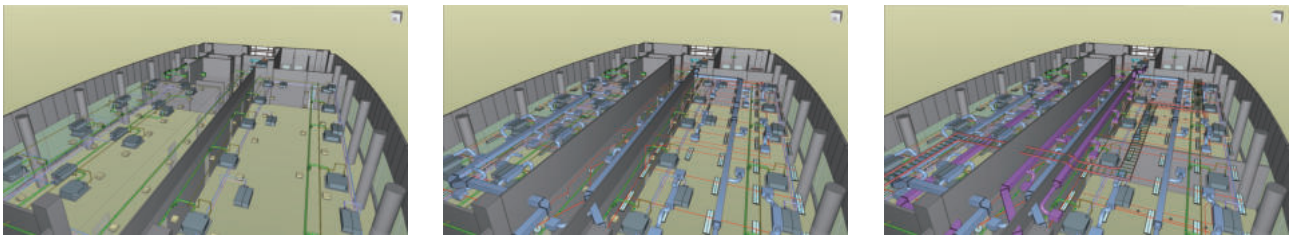
▼様々な保存場所でコラボレーション可能



版管理 機能

従来は作図者が各々ファイルを管理していたので、どれが最新の図面か把握することや、ある時点の図面に戻すことが困難でした。
Linxではそれをシステムで管理し、ワンモデル運用をサポートします。





▲ラベルを貼ることで、ある時点の図面状態をいつでも呼び出し可能

05 | 属性情報の活用

オブジェクトデータベース

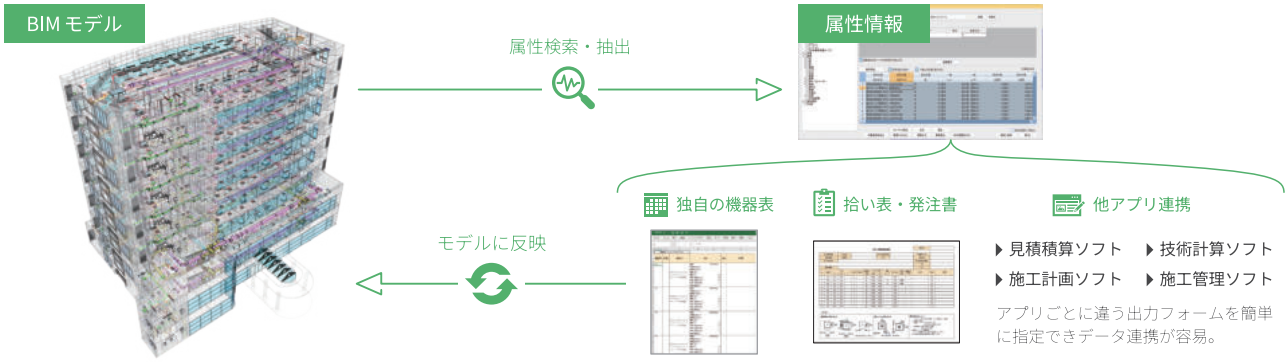
BIM モデルをデータベースとして扱えるので、対象オブジェクトの全情報を出力できます。データは指定項目で集計・抽出し表示することが可能です。また CAD から Excel データへ出力した後でも、Excel で修正した内容を CAD 上に反映できます。

モデル全体を属性検索・抽出

- 検索条件・出力フォームを共有
- キーワードで検索
- 複数項目を集計
- GUID 出力

データベース化により属性情報を自由な形式に出力

- 現場毎の機器表フォームに合わせて出力可能
- 表から、図面からでも修正でき反映可能

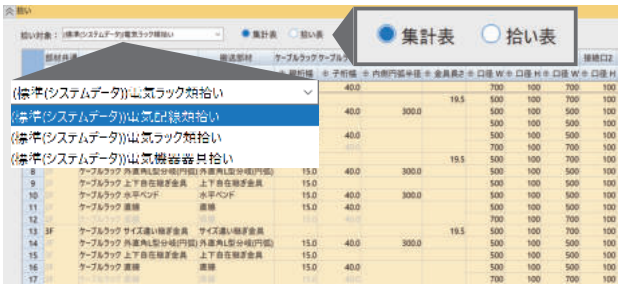


数量拾い機能

オブジェクトを指定した属性ごとに集計し、拾い表と集計表として出力が可能です。また、他の属性の追加や属性の並び替えができ、出力した表もカスタマイズが可能です。

集計表と拾い表の作成

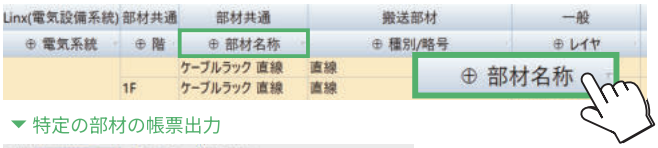
標準システムで様々な拾い種別を用意しています。集計表と拾い表を簡単に切り替え、Excel データとして出力可能です。



多彩なカスタマイズ機能

ドラッグ＆ドロップで列の並べ替えが可能です。
他の属性も追加でき、自由にカスタマイズできます。

▼列の並べ替え



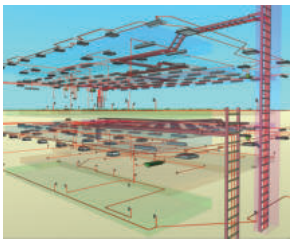
▼特定の部材の帳票出力



目的に合わせたさまざまな拾い機能

屋内隠蔽や屋外露出、シャフト内など、施工区分を付加することで施工区分ごとの集計が可能です。

施工区分ごとに 3D で色分けでき
視覚的に確認し集計が可能 ▶



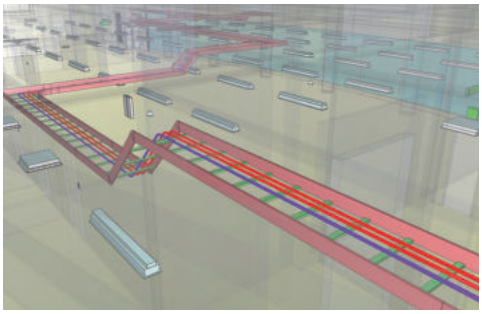


◀ 施工区分ごとの拾い

盤リスト作成機能

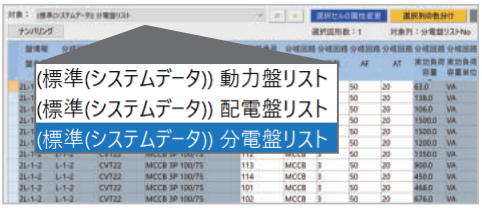
各盤に接続されている電気機器の負荷容量等を集計し、分電盤や動力盤等のリストを表図形や Excel データに出力できます。
従来はモデルと別に作成していた各盤のリストを、モデルを元に管理することができます。

幹線と回路番号が作図されているモデル上の盤に対して、直感的に分岐の指示ができ、主開閉器や電力量計等の設定が可能です。

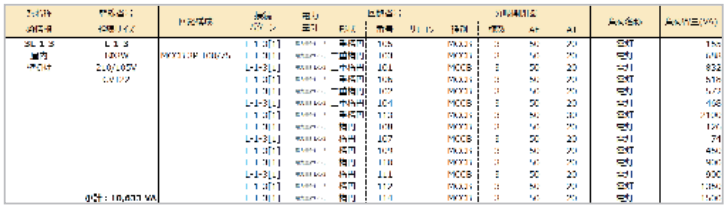




▼配電盤・動力盤・分電盤リストを標準搭載



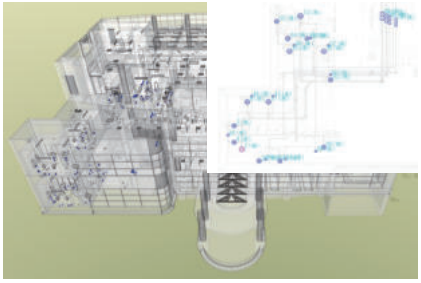
▼各盤のリストを表図形や Excel データに出力可能



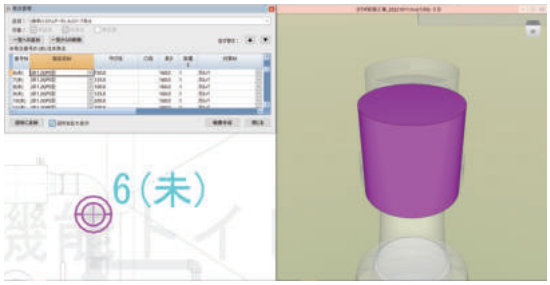
発注管理機能

モデル上にあるスリーブを拾い、自動で発注データを作成してメーカー指定の「発注指示書」を Excel データに出力できます。
また、抽出条件を作成することでスリーブ以外の様々なオブジェクトに対しても拡張可能です。

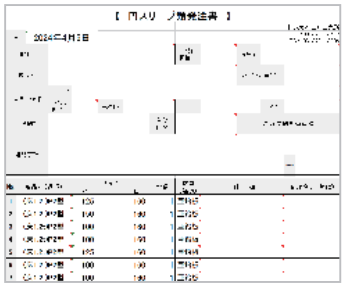
▼モデル上の全てのスリーブを拾い、確認



▼設定画面で情報修正後、すぐモデルに反映



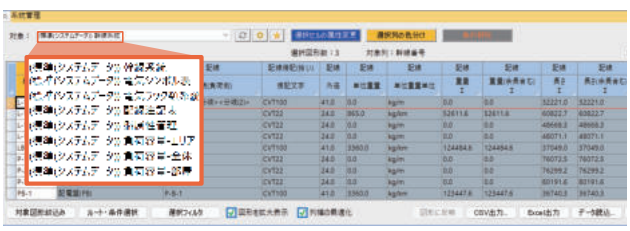
▼メーカー指定の発注指示書を自動作成



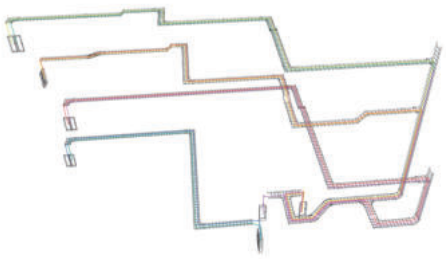
Excel データのため修正可能

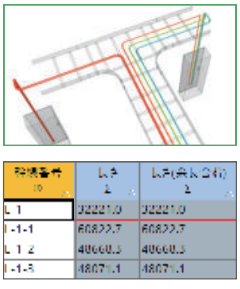
系統管理機能

モデル上にある電気ラックや幹線の系統を色分けし管理できます。また、幹線の系統では幹線番号毎のこう長と重量も
確認可能です。部屋やエリアごとの負荷容量等も確認できます。表示項目は自由にカスタマイズ可能です。



▲電気ラックや幹線等の系統を標準搭載
部屋やエリアごとに管理可能





▲幹線系統ごとに色分けして表示
オブジェクトプロパティから幹線番号・こう長を確認

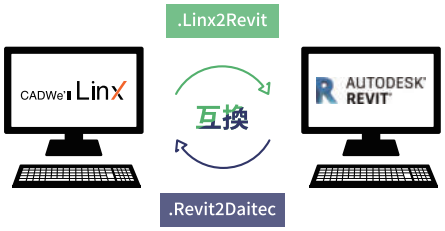
06 | 連携機能

Revit 連携

Autodesk®Revit® との相互連携により、シームレスなデータ受け渡しが可能です。従来から提供しているプラグインを利用したファミリへのマッピング方式に加え、Revit ネイティブファイル (*.rvt) の直接出力による変換時間を短縮した変換が可能になりました。

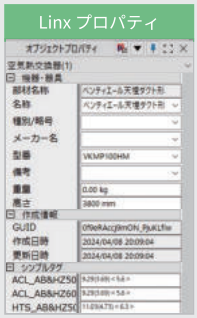
ダイレクトリンク

Linx ／ Revit 用中間ファイルによる互換



属性情報を保持した精度の高い互換

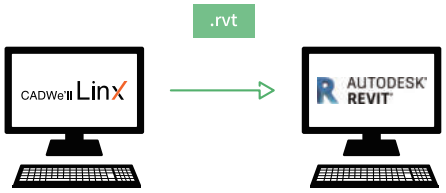
- それぞれの部品（ファミリ）に置き換えて編集可能
- 図形の属性情報を保持したまま変換





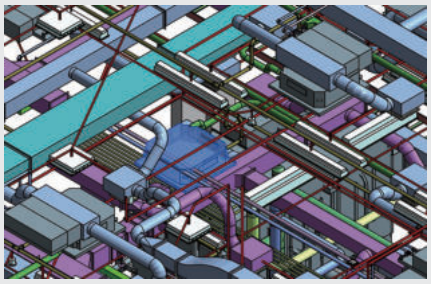
RVT 直接出力

Linx から Revit ネイティブファイルによる互換



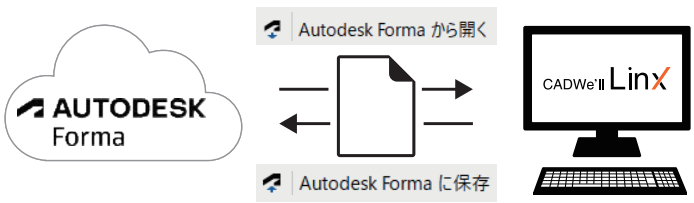
変換時間を短縮した簡易的な互換

- Linx からの出力 / Revit での読込時間の短縮
- 簡易的な取り合い調整が可能
- 出力時に Revit のバージョンを選択可能

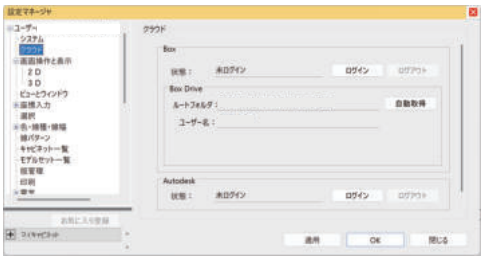


Forma 連携

Autodesk®Forma® からの図面読み込み・直接保存に対応しました。



▲ Autodesk Forma と図面を相互に開く・保存が可能
外部リンクも Autodesk Forma に対応



▲ 設定マネージャから
Autodesk のログイン管理も可能

SPIDER+ 連携

Linx で配置した機器情報を SPIDER+ へ受け渡すことで計測作業や撮影作業で利用できます。

Linxの機器情報を取得して、そのまま計測・撮影が可能

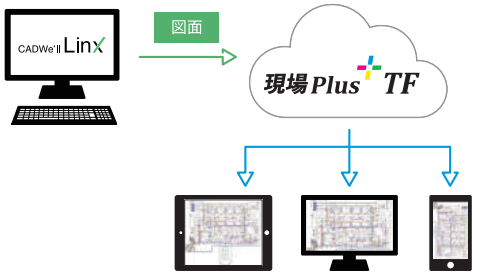


計測作業	撮影作業
▶ コンセント試験	▶ スリーブ撮影
▶ 非常用照明の照度測定	▶ 防火区画貫通部撮影

現場 Plus TF 連携

建設業向けクラウドサービス「現場 Plus TF」と連携し Linx から図面 PDF を直接アップロード可能です。

Linxから図面PDFを直接アップロード可能

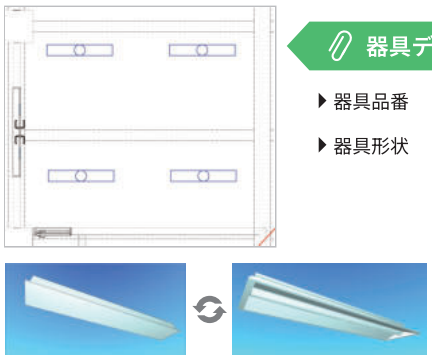


▲現場 Plus TF で図面を確認し、注釈を追加

照度分布図

パナソニック㈱社製「ルミナスプランナー」、東芝ライテック㈱社製「東芝照明設計ツール TX CAD 連携モジュール」と連携し、指定した部屋図形に対して照度分布図を作図できます。

① 照明器具にメーカーの器具データを付加

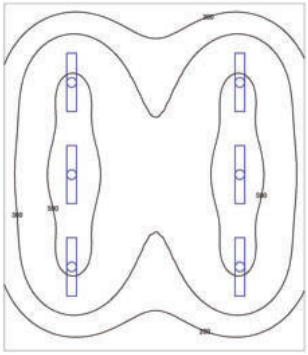


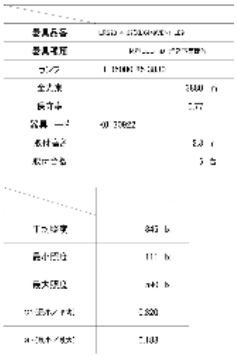
▶ 器具品番　▶ 器具種類

▶ 器具形状

▲メーカー製品の 3D 形状を取り込めます

② 器具や部屋の条件をもとに照度分布図を作成

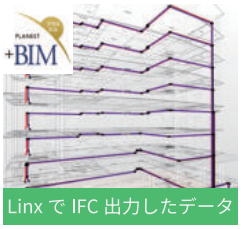




▲ 計算結果は表に出力

PLANEST +BIM 連携

「PLANEST +BIM」連携により、Linx の設備モデル (IFC) から自動で拾いデータや軌跡を作成できます。



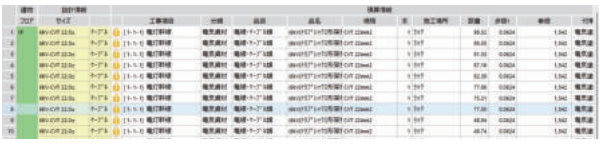
Linx で IFC 出力したデータ

▼盤・回路別に数量を自動で拾い出し



固有の傍記情報も受け渡し可能

▼PLANEST マスター (歩掛、単価) と関連付けすることで拾い軌跡を作成



Qrespo 連携

「Qrespo」で自動設計されたキュービクルを Linx に配置可能。設計初期段階からサイズやトランス容量を確認できます。



Linx 動画のご案内

Linx の各種機能や体験セミナーに関する動画を多数公開中です。
ダイテック Live! では、過去のアーカイブもあります。詳しくは
右記 QR コードよりご覧下さい。

Linx 機能動画　Linx 操作動画　Linx 体験セミナー

さらに使いやすくなったライセンスシステム

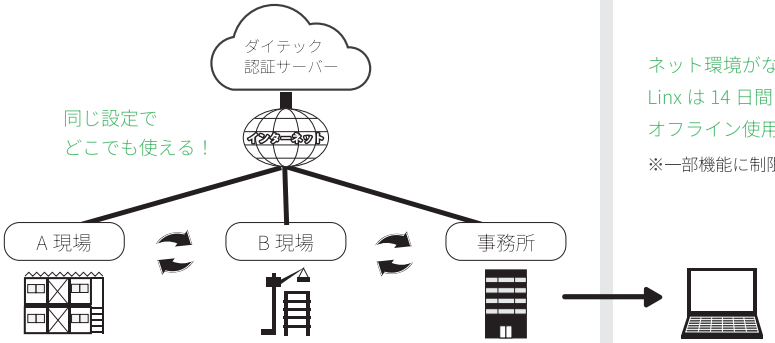
Linx はインストールフリー（インストール数の制限無し）のため、ご利用予定の全ての PC にインストールできます。
ID ／パスワードで認証を行うことにより、利用者の個人設定をどの PC でも再現できます。
※１ライセンス１ユーザーとし、契約ライセンス数を超えての同時使用はできません。

Linx 認証システム

あなただけの設定が、
いつでも・どこでも使える！

- ID/PW で認証
- インストールフリー
- 常時インターネット接続
- 全ての PC で共通設定可能

テレワークへの対応



ネット環境がなくても
Linx は 14 日間
オフライン使用できます。
※一部機能に制限がございます。

読込み可能なデータ形式

CADWe'll Linx	*.linx
CADWe'll Tfas（32）	*.tfs
CADWe'll Tfas（64）	*.tfx
Revit 連携用 中間ファイル	*.Revit2Daitec(2026 まで)
IFC	*.ifc (Ver.2x3、Ver.4、Ver.4.3)
BE-Bridge	*.ceq (Ver.7.0 まで)
AutoCAD®	*.dwg (AutoCAD®2026 まで)※1
DXF	*.dxf (AutoCAD®2026 まで)※1
Jw_cad	*.jwc (Ver.2.22H まで) *.jww (Ver7.11 まで)
Excel	*.xls、*.xlsx
PDF 形式	*.pdf
BCF	*.bcfzip (Ver.2.0まで)、*.bcf (Ver.2.1)

※1　3D 図形は 3 次元折れ線に変換されます。
　　AutoCAD®2005 以降の新機能で作成された一部の図形を除きます。

出力可能なデータ形式

CADWe'll Linx	*.linx
CADWe'll Tfas 連携用 中間ファイル	*.Linx2Tfas
CADWe'll Tfas (32)	*.tfs
CADWe'll Tfas (64)	*.tfx
Revit 連携用 中間ファイル	*.Linx2Revit(2026 まで)
IFC	*.ifc (Ver.2x3、Ver.4、Ver.4.3)
BE-Bridge	*.ceq (Ver.7.0 まで)
AutoCAD®	*.dwg (AutoCAD®2026 まで)
DXF	*.dxf (AutoCAD®2026 まで)
Jw_cad	*.jwc (Ver.2.22H まで) *.jww (Ver7.11 まで)
PDF 形式、3D PDF 形式	*.pdf
STL	*.stl
BCF	*.bcfzip (Ver.2.0まで)、*.bcf (Ver.2.1)
Revit ファイル	*.rvt(Revit2023、2024)

動作環境

対象 OS	Windows® 11、Windows® 10（64 ビット版）
CPU	Intel® Core™ i7 第 12 世代 同等品以上推奨
メモリ	32GB 以上推奨
インストールに必要な空きディスク容量	10GB 以上
グラフィック	DirectX® 11 が快適に動作するグラフィックカードもしくはオンボードチップ (NVIDIA® GeForce® GTX 1630、AMD Radeon™ RX 6400 4GB メモリ同等品以上推奨)
ディスプレイ	1920×1080 ドット以上
その他	インターネット接続環境　※ Amazon 社が提供する Web サービスを利用できること

株式会社 ダイテック
本社：東京都品川区南大井 6-16-19
■ 北海道｜011-222-9631　■ 東　北｜022-745-1112　■ 東　京｜03-5762-3511
■ 中　部｜052-856-6633　■ 北　陸｜076-226-0470　■ 関　西｜06-6201-0231
■ 四　国｜087-861-0431　■ 中　国｜082-563-5301　■ 九　州｜092-235-1290
cad-setsubi@daitec.co.jp

※CADWe'll Linx はダイテックの登録商標です。
※Autodesk®Revit®、Forma® はオートデスク株式会社の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
※その他記載されている全ての社名、製品名はそれぞれの会社の登録商標または商標です。
© 2026 DAITEC Co., Ltd.　2026.10 版